



損切りスキルを極める 6つの損切りパターン

FX trading

損切りとは？

今さら

「損切りとはどういう意味でしょう？」

なんて聞きません！

損切りとは？

聞きたいのは

あなたの中で「**損切り**」を

どのように認識しているかです。

損切りとは？

「しなければいけない」

とどこかで見te聞いたから？

「精神的に耐えられなくなった」

ところで損切り？

損切りとは？

損切りとは...

損切りとは？

先が分からない相場においてリスクを最小限に抑えて

自分の資産を守る"唯一の方法"

損切りとは？

- 1** 先が分からない相場において
リスクを最小限に抑えて
自分の資産を守る**"唯一の方法"**と心得よ！
- 2** **損切りポイントが決まらずに**
決してエントリーしてはいけない！
- 3** 損切りは感覚で行わず
必ず理由や根拠を持って行う！

損切りとは？

この3つを絶対に守ってください！

トレードに慣れるにつれて

②が疎かになる傾向があり、

最終的に③の感覚損切りに陥ります。

損切りとは？

1. 損切りの明確な基準を持っているか？
2. それを言葉にしてハッキリ言うことができるか？
3. それを必ず守って執行しているか？

損切りとは？

3つとも「Yes」と言えましたか？

直近1ヶ月の負けトレードの中で

3トレード以上

損切りルールを破っていればアウトです。

損切りとは？

- ・なぜその損切りなのか？
- ・なぜ守らなかったのか？
- ・守らなかった結果そのトレードは怎么样了のか？
- ・その時に守っていればどうであったか？

損切りとは？

これらを絶対に
検証しなおすようにしてください！

勝てていないトレーダーは
こういった検証が足りなさすぎます。

損切りの考え方

「トレード」というものは

ポジションを建てるだけの理由があるからエントリーし

ポジションを持った理由がなくなったから手仕舞い(決済)する

なぜそのポジションを持ったのですか？

ここが明確でないと当然適切な手仕舞いできません。

ただ何となくエントリーしたのであれば

何となく決済するしかないということです。

損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

相場は先がわかりません。

利益目標？期待値？勝率？

所詮全ては「期待」するものであり

確実性は全くありません！

損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

その不確実な相場の中で

唯一確実なものがあります。

損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

それが「**損切り**」

「**損切り**」だけは完全に

あなたのコントロール下にあるということです。

損切りは唯一トレーダーの自由になるもの

「損切り」は

我々トレーダーが必死ですがりつかなければいけないもの

であるということを認識してください。

損切りのパターンを覚える

損切りを5つにパターン化しました

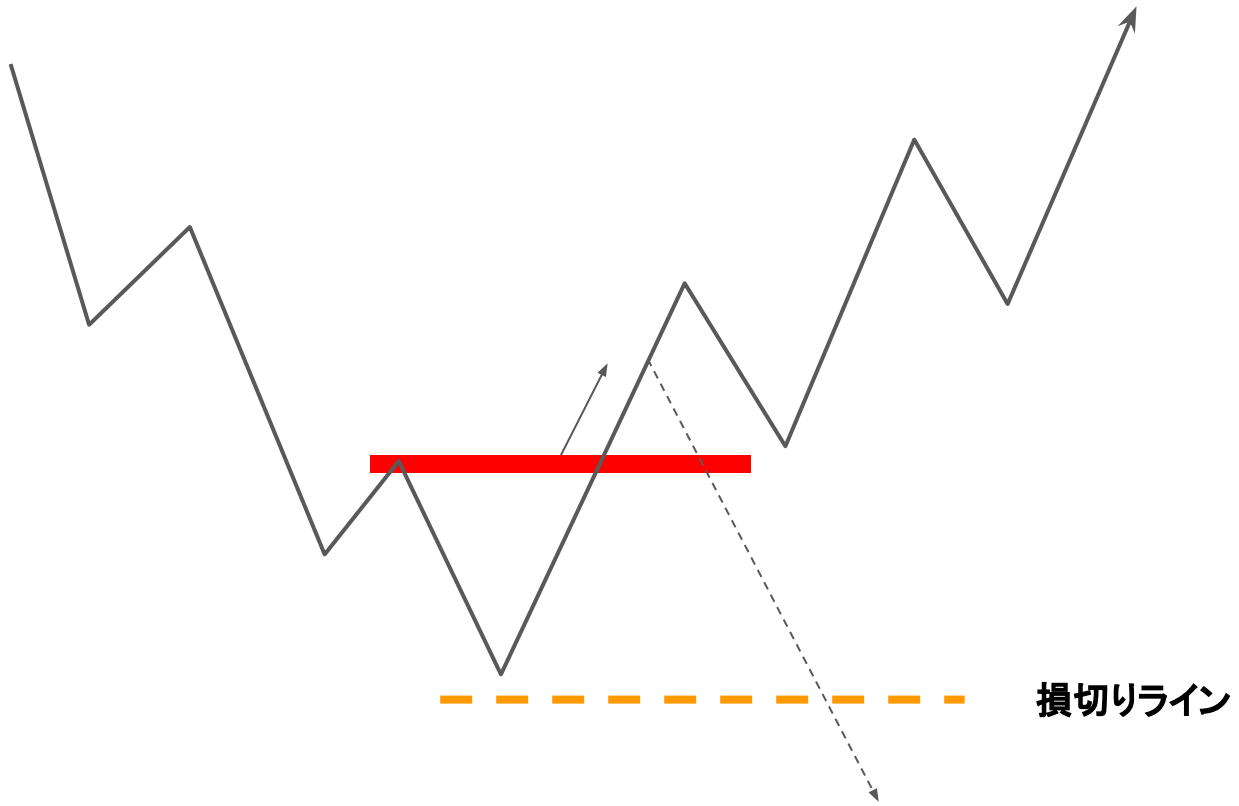
自分のトレードにはどの損切りがっているのか

トレードごとにどのような損切りが適しているのか

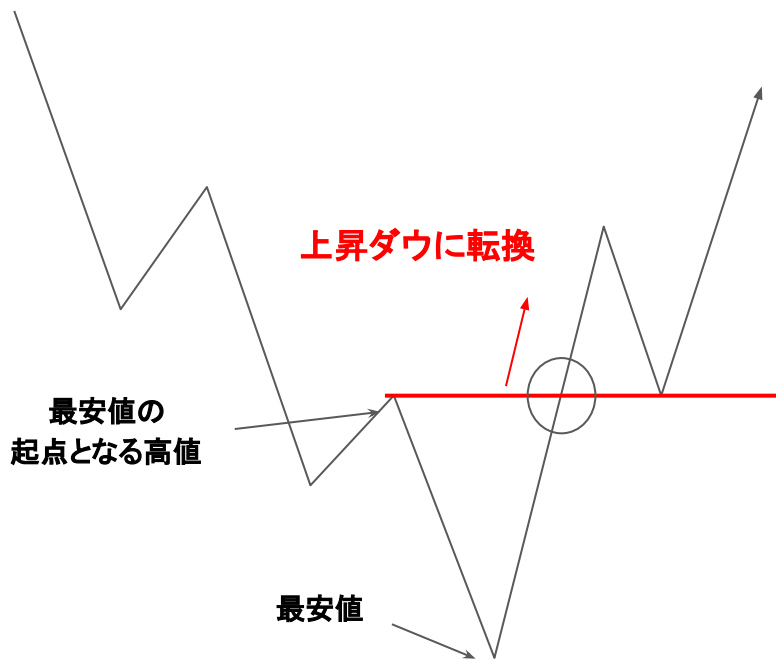
を考えてみてください！

1.ダウ崩れが起きたら損切り

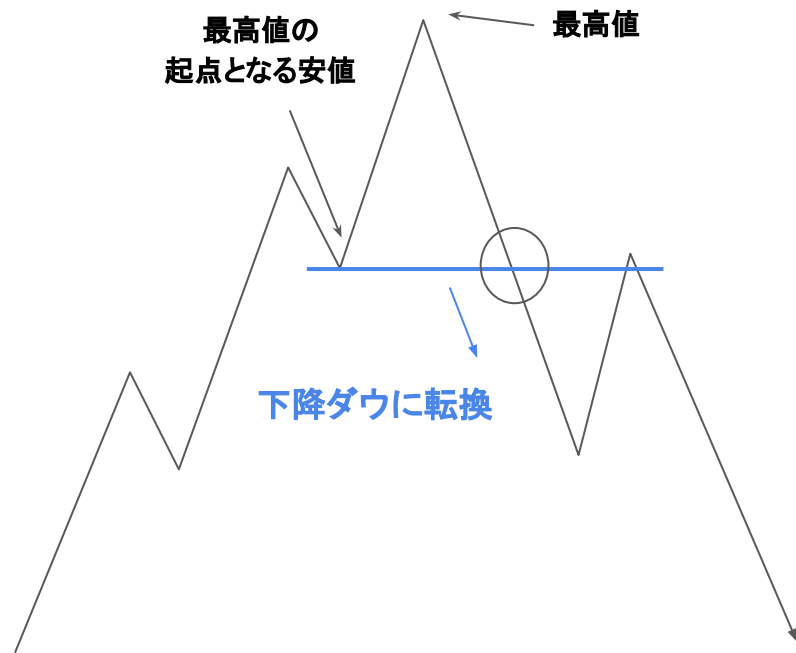
損切りの1番基本のパターンです



1.ダウ崩れが起きたら損切り



最安値の起点となる高値を上抜け
→ 下降ダウ崩れ

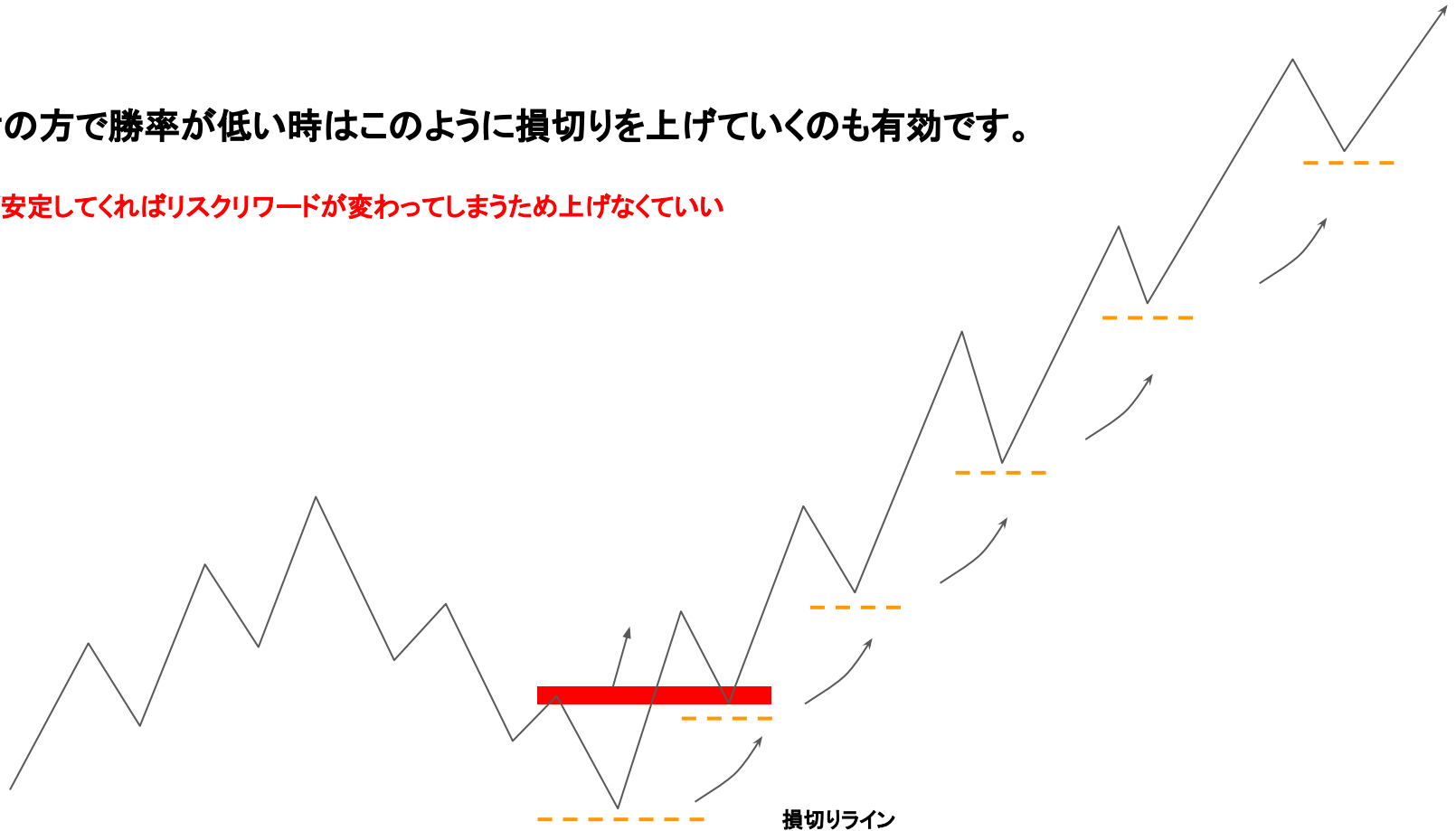


最高値の起点となる安値を下抜け
→ 上昇ダウ崩れ

1.ダウ崩れが起きたら損切り

初心者の方で勝率が低い時はこのように損切りを上げていくのも有効です。

※勝率が安定してくればリスクワードが変わってしまうため上げなくていい



1.ダウ崩れが起きたら損切り

ポジションを持っている
理由がないのに持っているというのは

ただなんとなく上がるような
気がするからエントリーしてみた！

というのと同じことです。

1.ダウ崩れが起きたら損切り

その時に利益が出ていようと

含み損になっていようと

ポジションを持ち続ける理由がなくなれば手仕舞いです。

2. エントリーしたレート割ったら損切り

これは

レートにある程度の勢いがないと難しいです。

2.エントリーしたレートを割ったら損切り

【買いエントリーの場合】

買ったレートを割ったら即損切りということは

エントリー後に逆行することなく上昇することが条件

2. エントリーしたレートを割ったら損切り



2. エントリーしたレートを割ったら損切り

この損切りを

意図してやっているならともかく

わずかの逆行を怖がって

勝手にこの損切りになっているトレーダーが非常に多いです。

2.エントリーしたレートを割ったら損切り

最初に言いましたが

この損切りをするトレードは

レートに勢いがあるって初めて成功しやすいということです。

3.移動平均線を割ったら損切り

「相場状況の良い局面で」

よく使う方法です。

3.移動平均線を割ったら損切り

この方法も

利確と損切りは同じものという

考え方がわかりやすく成り立ちます。

3. 移動平均線を割ったら損切り

トレンドに沿ってトレードしている限り

あまり**大きな損切り**にはなりにくく

そして**利益も明確に伸ばしやすい**という利点

3. 移動平均線を割ったら損切り



エントリー

利確

損切り

3.移動平均線を割ったら損切り

最初に

「相場状況の良い局面で」

とわざわざ言ったのは

3.移動平均線を割ったら損切り

この方法もエントリー後に

比較的逆行せずに

思惑通りの方向へと動き続けられないといけないからです。

3.移動平均線を割ったら損切り

他の要素でも

大きく左右されるトレード(損切り)方法になります。

3. 移動平均線を割ったら損切り

特に上位足での**勢い**や**ダウ**は
絶対に考慮する必要があります

4.トレンドラインを割ったら損切り

この損切りも

移動平均線の方法と同じ利点があります。

しかも、移動平均線の方法よりも明確です。

4.トレンドラインを割ったら損切り



4.トレンドラインを割ったら損切り

上位足と下位足との方向が異なっている時に

無理矢理トレンドラインを引いても有効には働きにくいです。

4.トレンドラインを割ったら損切り

相場状況さえ正しく認識して使えば

損切りと言いながらも

損失となる可能性が低い方法になります。

4.トレンドラインを割ったら損切り

もちろんトレンドライン反発後

エントリータイミングが遅れたり

トレンドラインの角度が緩い場合は

損切りになる可能性は高くなります。

4.トレンドラインを割ったら損切り

使えるのが

トレンドラインを引くことができる

相場状況に限られてしまうという欠点があります。

4.トレンドラインを割ったら損切り

しかし、それでいいんです。

どこでもトレードできる方法を

重宝しがちですがトレードとは

機会(チャンス)を上手く利用するものです。

4.トレンドラインを割ったら損切り

機会(チャンス)が多い方法は

その分リスクも高まります。

4.トレンドラインを割ったら損切り

そして

そのような無理矢理なトレードは

いつか必ず破綻します。

4.トレンドラインを割ったら損切り

チャンスが少なくて待つ必要があったり

チャンスに至るまでに大きな値動きを何度も逃してでも

できるだけ損をしない局面まで待ちましょう。

4.トレンドラインを割ったら損切り

そしてそれを継続できるトレーダーこそが

最後まで生き残り

大きな資産を手にすることができる者です。

5.エントリーしたローソク足の高値安値を割ったら損切り

【例えば買いエントリーした場合】

買ったローソク足の安値を割ったら損切り

非常に単純で理にかなっています。

5. エントリーしたローソク足の高値安値を割ったら損切り

上位足



5. エントリーしたローソク足の高値安値を割ったら損切り

ラインが明確な分、迷いが少なく

安値割れしなければ、**その後の伸びが期待でき**

安値割れすれば、**その後の伸びは期待できない**

と納得できます。

それ以外のパターンは？

**もちろんこの5つのパターン以外にも
多くの損切り方法があります。**

それ以外のパターンは？

ただ損切りの考え方で芯となる部分は

なぜそのポジションを建てたのか？

ということです。

それ以外のパターンは？

その理由を明確にして

ポジションを建てた理由がなくなれば

手仕舞いするということを徹底しましょう！

おわりに

トレードを行う際に

- ・損切りが狭く設定できるところ
- ・そして「わかりやすい」ところ

この2つを常に意識してみてください！

おわりに

**大きな傷を負わないことが
相場で生き残る最大の秘訣です。**